

◇ 学習指導案について ◇

この学習指導案は、各教科等の特性により形式や内容に若干違いはありますが、基本的には以下のようになっています。

御覧になる際には、下記のことを参考にしてください。

〇〇科学習指導案、または略案

〇年〇組 〇〇名 指導者 〇 〇 〇 〇

リード文…今回の授業で、検証したいことについて述べてあります。

1 単元（題材） 〇〇〇〇

2 目標

※ 本単元（題材）で身に付けさせたいことを指導目標として述べてあります。

3 単元（題材）の評価規準

- ～に関心をもち、～意欲的に調べることを通して、～しようとしている。 【関心・意欲・態度】
- ～について考え、～している。 【思考・判断・表現】
- ～を活用するとともに、～することができる。 【技能】
- ～を理解している。 【知識・理解】

※ 単元（目標）を分析して、子どもの姿で述べてあります。

※ 評価規準の観点は4観点を基本としていますが、教科等によって異なります。

4 単元（題材）について


(1) 単元（題材）の価値

※ 単元（題材）設定の意義や教材観について述べてあります。

(2) 子どもの実態と指導

※ 本単元（題材）にかかわる内容について子どもの実態を明らかにし、共感的な子ども理解という場から、子どもをどのようにとらえているかを述べてあります。

5 指導計画（総時数〇時間）

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
つかむ	<p>1 金属の温まり方について簡単な実験を行い、どのように温まっていくのかを考え、予想する。】</p> <p>【関：金属の温まり方に興味をもち、進んで調べようとしている。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>～することで、～できるよう（もてるよう）にする。</p> <p>※ 学習活動に対しての手立てを述べます。</p> </div> 	1 (本時)

6 本時 (○/○)

(1) 目標

※ 単元(題材)の目標や評価規準を基に、指導目標を述べてあります。

(2) 評価規準

※ 指導計画の本時に位置付けてある評価規準を述べてあります。これが本時で重点的に評価し指導していく内容になります。

(3) 指導に当たって

※ 活動の流れに沿って、どのような指導を行っていくかを述べてあります。

(4) 本時の展開

[] 子どもの意識

☞ 指導の手立て

※ 評価

過程	時間	主な学習活動と指導の手立て・評価
調べる	30	<p>4 実験をする。</p> <p>・ 下を熱したら、上から徐々に色が変わっていったね。</p> <p>・ 上を熱したら、その部分は色が変わったけど、下の部分は変わらなかったね。</p> <p>キーワードを教師が提示することで、発表内容を比較して考えることができるようにする。</p> <p>熱する場所を変えることで、水の温まり方の普遍的なきまりに気付くことができるようにする。</p> <p>※ 水や空気の温まり方に興味をもち、進んで調べようとしている。 (発表・ワークシート)</p> <p>○ 達成している子どもには・・・</p> <p>○ 達成していない子どもには・・・</p>

※ 「太線吹き出し」☞ : 「思考スキル」を活用し、思考力・判断力・表現力を高める教師の指導の手立てや「学び合い」の中で思考力・判断力・表現力を高める教師の手立てを述べてあります。

※ 「実線吹き出し」☞ : 評価規準に対して、子どもへの具体的な手立てを述べてあります。

※ 学習活動におけるには評価は※で表しています。また、評価の見取り方を(ノート)、(発表)、(作品)、(ワークシート)など具体的な方法で示しています。
☞ (波線)には、評価規準を見取った後の指導について述べてあります。

※ 本時の終末には、☐ で、学習のまとめを示しています。